

役員の報酬等に関する規程

社会福祉法人ほっと未来S O U Z O U舎

役員の報酬等に関する規程

（目的）

第1条 この規程は、社会福祉法人ほっと未来S O U Z O U舎（以下、「法人」という）の役員等の報酬等について定めるものである。

（定義等）

第2条 本規程における次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （1）役員とは、定款第16条第1項で定める理事及び監事を示す。
- （2）評議員とは、定款第5条で定める評議員を示す。
- （3）役員等とは、理事、監事及び評議員を示す。
- （4）常勤の理事とは、週平均で4日以上出勤する理事を示す。
- （5）非常勤の理事とは、週平均で4日未満出勤する理事を示す。
- （6）報酬等とは、社会福祉法第45条の35で定める報酬・会議出席・監査等の法人の運営に必要な業務執行の対価であって、その名称の如何を問わない。ただし、法人の職員として業務を執行し、その対価として支払を受ける職員給与は、本規程における報酬には含まない。

（勤務形態に応じた報酬等の区分）

第3条 役員等に対しては、業務の対価として、次のとおり報酬等を支払うことができる。

- | | |
|-----------|----|
| （1）常勤の理事 | 報酬 |
| （2）非常勤の理事 | 報酬 |
| （3）評議員 | 報酬 |
| （4）監事 | 報酬 |

（常勤の理事の報酬）

第4条 常勤の理事の報酬は、次の通りとする。

名 称	報酬(月額)
理 事 長	20,000円
業務執行理事	10,000円
理 事	5,000円

（常勤の理事以外の報酬）

第5条 役員等（常勤の理事を除く）が、次に掲げる業務を行った場合は報酬を支払うことができる。

	業務等	報酬
1	理事会、評議員会に出席した場合	会議出席毎 5, 0 0 0 円
2	①法人施設等で業務を行う場合	4 時間以上 1 0, 0 0 0 円
	②法人業務のため出張する場合	4 時間未満 5, 0 0 0 円
3	①監事が法人及び施設の運営状況を指導した場合	業務・指導毎 5, 0 0 0 円
	②監事が監査の業務を行った場合	

(旅費等)

第 6 条 役員等が、法人業務のため出張する場合、及び法人施設等で業務を行う場合は、旅費等を支給することができる。

2 旅費は、実費を支給する。

3 業務遂行に必要な経費については、実費を原則として支給できる。

4 旅費は実情を考慮し、増額することができる。

5 旅費等は原則として、出張終了後支払うこととするが、必要により事前に概算額を支払い、出張終了後精算することができる。

(支給の方法)

第 7 条 報酬等は、毎月末日に締め切り、翌月 2 0 日に支払うものとする。なお、支給日が土日、祝祭日にあたる場合は、その前日に繰り上げて支払うものとする。

(支給の形態)

第 8 条 報酬等は、通貨をもって本人に支給又は支払うものとする。ただし、本人の同意を得れば本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができるものとする。

2 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金等を控除して支給する。

(特別功労報奨)

第 9 条 長きにわたり当法人の運営に貢献した役員については、理事会・評議員会での推薦により、特別功労報奨を受けることができる。この場合の報奨金額等については、その都度、理事会・評議員会にて審議することとする。

(改正)

第 1 0 条 本規程を改正する必要がある場合には、理事会・評議員会の議決を経なければならない。

付 則

1. この規程は、令和 3 年 4 月 1 日より適用する。
2. この改正は、令和 6 年 5 月 22 日から施行し、令和 6 年 4 月 1 日から遡及して適用する。
3. 令和 7 年 4 月 1 日 全面改定